



FISU 世界大学大会 2018

日本招致レポート

～最終プレゼンテーションが終了～



10月27日、ベルギーで行われた選考プレゼンテーションにて。左から学連の信川義明事務局長、木島明彦常任理事、WKFの奈藏稔久事務総長、学連の古川一彦理事長、FISUのルチアーノ・キャブラル副会長、レオンツ・エデル副会長、パウロ・フェレイラ理事。

2020年東京オリンピックの前々年、2018年に開催される「FISU世界大学空手道選手権大会」。この大会を日本の神戸に招致しようと、世界空手連盟（WKF）、公益財団法人全日本空手道連盟（全空連）、全日本学生空手道連盟（学連）が一体となって日本招致を目指している。その最後のヤマ場となるプレゼンテーションが10月27日にベルギーで行なわれた。今回は、これまでの招致活動の過程を追った。

オリンピックへの弾みに

2018年に開催される「FISU世界大学空手道選手権大会」。国際大学スポーツ連盟（FISU）が主催する大学生の空手道世界大会を、日本の神戸に招致しているという情報は、JKFan2015年7月号でもご紹介した。2020年の東京オリンピックでの空手道種目採用へ、また2024年以降の空手道のオリンピック正式種目採用へ向けた、日本からの大きなアピールの機会となると捉えている。

当初、11月15日のFISU総会にて開催地決定がなされる予定であったが、今回、決定と発表が延期となった。

現時点では、FISUの発表は12月初旬から中旬を

予定しているとのことだ。

万全のPR活動で、招致決定に自信あり

7月6日、ユニバーシアード（FISU主催の国際総合学生スポーツ大会）が開かれた韓国・光州へ、WKFの奈藏稔久事務総長、学連の古川一彦理事長、信川義明事務局長が赴き、FISUのレオンツ・エデル副会長、ルチアーノ・キャブラル副会長、パウロ・フェレイラ理事と面談、開催への情熱をアピールした。

なお面談実現にあたって、FISUの日本の代表である五十嵐久人新潟大学教授、JOC国際部の福島敦氏の強力なサポートを受け、広く日本のスポーツ界からも支えられた招致活動となった。



10月末のベルギー訪問中には、在ベルギー日本大使館を訪問、石井正文特命全権大使と面会（上写真）。また、ベルギー空手道連盟のフランソワ会長とも面会した。空手のオリンピック採用に向けて力強い応援の言葉をいただいた。



参加対象となるのは、3年後の2018年に大学生である選手。今後の日本代表、ひいては2020年のオリンピックでの活躍も期待できるメンバーの出場が見込まれる。

日本・神戸開催において、3つの強みをPR

9月に応募書類を提出して正式立候補を表明後、10月27日、ベルギーの首都ブリュッセルにて開催されたFISU主催の2018年世界大学空手道選手権大会誘致選考会において、プレゼンテーションを行なった。最終的に日本（神戸市）の他、フランスとハンガリーが立候補した。

プレゼンテーションに日本側から出席したのは、WKFの奈藏事務総長、学連の古川理事長、木島明彦常任理事、信川事務局長の4名。30分間のプレゼンテーション時間が与えられ、日本は次の3つの大きなアピールポイントを押し出した。

【1】空手道競技が採用有力視されている2020年の東京オリンピック、2019年に行なわれるオリンピックプレ大会と、2018年のFISU世界大学空手道選手権大会が一体であること。2020年の東京オリンピックの大成功へ向けて、その2年前の大会を同じ日本で開催することで、オ

国際大学スポーツ連盟（FISU）概要



1949年設立、本部はスイスのローザンヌ。現在167カ国の大学スポーツ連盟が加盟中。ユニバーシアード大会と、各競技の世界大学選手権大会（WUC）を主催する。

★ユニバーシアード

2年に一度開催される、大学生の世界総合スポーツ大会。夏季冬季とあり、夏季大会は10競技と、開催国指定の3競技が行なわれる。2015年は7月に韓国で開催。

★世界大学選手権大会（WUC）

各競技の世界大学選手権大会で、ユニバーシアードとは別日程、別会場で開催される。現在37競技がそれぞれ実施している。空手もWUC競技で、次回は2016年にポルトガルで開催予定。

2018世界大学空手道大会概要案＜抜粋＞

大会名称	2018 FISU 第11回世界大学空手道選手権大会 KOBE
場所	兵庫県 神戸市立中央体育館（予定）
時期	2018年7月19日～7月22日（予定）
参加国	40カ国（予定）
参加者	400名（予定）
主催	国際大学スポーツ連盟（FISU）、公益財団法人全日本空手道連盟（JKF）、世界空手連盟（WKF）
主管	全日本学生空手道連盟（JUKF）
後援（予定）	文部科学省、法務省、外務省、公益財団法人日本武道館、兵庫県、神戸市
公認	日本ユニバーシアード委員会（JUSB）
協力（予定）	兵庫県空手道連盟、神戸市空手道連盟、兵庫県高体連空手道専門部
企画運営	第11回FISU世界大学空手道選手権大会組織委員会を設ける。実務機関として、実行委員会を設け、万全な体制を期す。

リンピックをより良いものとする。

【2】決定すればアジアでは2000年に日本（京都）で開催されて以来の、久しぶりの開催となる。アジアで開催することによって、空手道、ひいては大学スポーツのより世界的な広まりをアピールできる。

【3】候補地・神戸の素晴らしさ。治安が良く、観光、交通の便も良い。港町で開かれた文化に加え、近くには京都もあり、日本文化を大いに味わうことのできる場所である。

特に【1】は一番の強みで、出場者の多くがオリンピックになるであろうという世界大学大会を、オリンピックの2年前に日本で開催することには大きな意義があることを強調した。なおプレゼンテーションのFISU選考委員には7月に面談したエデル副会長、キャブラル副会長、フェレイラ理事も参席しており、日本のプレゼンテーションの雰囲気は和やかに進められた。